



平成 28 年 5 月 27 日

各 位

会 社 名 日本商業開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 松岡 哲也
(コード番号 3252 東証・名証第一部)
問合せ先 取締役財務・経理本部長 入江 賢治
(TEL 06 - 4706 - 7501)

ニューリアルプロパティ株式会社の連結子会社化（特定子会社） 及び特別利益（負ののれん発生益）の計上に関するお知らせ

ニューリアルプロパティ株式会社（以下、NRP）の連結子会社化（特定子会社）に伴い、平成 29 年 3 月期第 1 四半期において特別利益（負ののれん発生益）を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 異動の理由

当社は、平成 27 年 11 月 19 日付で公表いたしました「株式の取得（持分法適用関連会社化）に関するお知らせ」に記載のとおり NRP の株式を取得いたしました。本日、NRP による自己株式の取得が実行されたことから、当社が保有する同社の議決権所有割合が増加した結果、NRP は当社の連結子会社となりました。なお、同社の資本金の額は当社の資本金の額の 100 分の 10 以上に相当するため、特定子会社に該当いたします。

また、これに伴い、平成 29 年 3 月期第 1 四半期において特別利益（負ののれん発生益）を計上する見込みであります。

2. 異動する子会社（ニューリアルプロパティ株式会社）の概要

(1) 名 称	ニューリアルプロパティ株式会社
(2) 所 在 地	福井県福井市中央二丁目 6 番 8 号
(3) 代表者の役職・氏名	取締役社長 吉田 賢司
(4) 事 業 内 容	不動産事業、海外 P F I 事業
(5) 資 本 金	5,000 百万円
(6) 設 立 年 月 日	平成 15 年 10 月 1 日
(7) 大株主及び出資比率 (自己株式取得前)	合同会社市ヶ谷インベストメント 17.80% 笹島建設株式会社 10.79% 神宮前キャピタル合同会社 5.44%

(8) 上場会社と当該会社との間の関係 (自己株式取得前)	資本関係	当社は、当該会社の普通株式 18,787 千株 (議決権所有割合 30.57%) を間接保有しております。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
(9) 当該会社の直近の連結経営成績及び連結財政状態		
決算期	平成 27 年 3 月期	
売上高	2,212 百万円	
営業利益	346 百万円	
経常利益	128 百万円	
当期純利益	51 百万円	
1 株当たり当期純利益	0.79 円	
総資産	21,490 百万円	
純資産	13,913 百万円	
1 株当たり純資産額	211.94 円	

3. 所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	18,787 千株 (議決権の数 : 18,787 個) (議決権所有割合 : 30.57%)	発行済株式数 (NR P) : 66,823,252 株 (議決権総数 : 61,453 個)
(2) 異動後の所有株式数	18,787 千株 (議決権の数 : 18,787 個) (議決権所有割合 : 72.08%)	発行済株式数 (NR P) : 66,823,252 株 (議決権総数 : 26,062 個)

4. 負ののれん発生益等の見込額、及び今後の見通し

今回の NR P の連結子会社化により、平成 29 年 3 月期通期連結決算におきまして、特別利益 (負ののれん発生益) 45.7 億円、特別損失 (段階取得に係る差損) △17.8 億円の差引き 27.9 億円を計上する見込みであります。なお、平成 28 年 5 月 10 日公表しました平成 29 年 3 月期の連結業績予想にこれを織り込み済みであります。

負ののれん発生益 (特別利益)	45.7 億円
段階取得に係る差損 (特別損失)	△17.8 億円
合計	27.9 億円

5. 今後の方針

今回の NR P の連結子会社化により、NR P が培って海外 P F I 事業のノウハウ、海外における営業拠点・人的資源を活用し、新たに

- ① ニューヨーク (マンハッタン) における不動産投資
- ② シドニーにおける不動産投資
- ③ 将来における海外での「JINUSHI ビジネス」の展開

等々を通じ、新たなビジネスモデルの創設に取り組んで行くとともに、国内では、NR P の分譲用宅地等資産の一部の売却を促進して、平成 29 年 3 月期連結決算の業績の最大化を目指します。

なお、当社の役職員 2 名を NR P の取締役として派遣し、同社との連携を強化いたします。

また、本件開示に係る補足説明については、当社ウェブサイト（*）に掲載しておりますのでご覧くださいますようお願いいたします。

（*）<http://www.ncd-jp.com/>（IR 情報、IR News）

以 上

（参考）当期連結業績予想（平成 28 年 5 月 10 日公表分）及び前期連結実績（百万円）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 （平成 29 年 3 月期）	25,900	3,690	2,400	4,400
前期連結業績実績 （平成 28 年 3 月期）	17,378	5,955	5,626	3,605

※ 連結経常利益から特別利益（負ののれん発生益）、特別損失（段階取得に係る差損）を加減算したものが親会社株主に帰属する当期純利益となります。